

JFE SHOJI TERRE ONE 土木製品 ラインナップ



支店・販売店案内

東京本社 関東支店	〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目2番1号 新大手町ビル5階	TEL. 03-5203-6270 FAX. 03-5203-6277
札幌営業所	〒060-0003 札幌市中央区北二条西四丁目1番地 札幌三井JPビルディング13階	TEL. 011-261-5692 FAX. 011-241-3507
新潟営業所	〒950-0087 新潟市中央区東大通1丁目2番23号 北陸ビル7階	TEL. 025-248-2081 FAX. 025-241-8344
仙台支店	〒980-0822 仙台市青葉区立町27番21号 仙台橋本ビル6階	TEL. 022-225-8366 FAX. 022-263-5710
名古屋支店	〒450-6423 名古屋市中村区名駅3丁目28番12号 大名古屋ビルヂング23階	TEL. 052-569-5211 FAX. 052-569-5213
大阪支店	〒530-8318 大阪市北区堂島1丁目6番20号 堂島アバンザ17階	TEL. 06-6348-2311 FAX. 06-6348-2314
広島支店	〒730-0016 広島市中区幟町13番15号 新広島ビルディング9階	TEL. 082-502-3950 FAX. 082-502-3952
四国営業所	〒760-0019 高松市サンポート2丁目1番 高松シンボルタワー23階	TEL. 087-823-6501 FAX. 087-823-6502
九州支店	〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町1番35号 博多三井ビル2号館6階	TEL. 092-283-0272 FAX. 092-283-0273
鹿児島営業所	〒892-0847 鹿児島市西千石町1番32号 Wビルディング西千石町3階	TEL. 099-226-7727 FAX. 099-225-6782



JFE商事 テールワン 株式会社



土 × 技術力 × 総合力

「技術力」集まるともっと強くなる

- ・支える「安心安全な暮らし」
- ・広がる「新しい可能性」
- ・続 く「明るい未来」

総合的な技術力で暮らしを、未来を守ります。



INDEX

擁壁

テールアルメ工法 (アクアテール35・14、テールアルメ擁壁、緑化テールアルメ)

テラセル[®]工法(ジオセル)

ワイヤーウォール (緑化補強土壁工法)

軽量盛土

EPS工法 (発泡スチロール土木工法)

FCB工法(気泡混合軽量盛土工法)

ウレタンLH工法 (発泡ウレタン軽量盛土工法)

スーパーソル (発泡ガラス軽量盛土材)

補強盛土

テンサー[®]

バラリンク

基礎補強

SPフィックスパイル工法

テラセル[®]工法 (グラウンドセル) マットレス工法

切土補強土

SPソイルネイル工法

PAN WALL工法

法面保護

コンクリートキャンバス

橋梁

仮設橋梁 (EGスパン[®])

メタルロード[®]工法 (鋼製栈道橋)

防護柵

ブリッジプラスアルファ (鋼製地覆)

プレキャスト防護柵基礎

護岸

ゴビマット (土壌侵食防止ブロックマット)

ベントフィックス (遮水マット)

排水・雨水貯留

ハウエル管

クロスウェーブ工法 (プラスチック製雨水貯留槽)

治山・砂防

応急土石流ガード

JSパッケージ (鋼製ふとん籠)

補修・補強

グリッドメタル[®] (コンクリート構造物の補修・補強用 格子鋼板筋)

NTRフォーム工法

その他

ロールマット工法 (鉄筋先組み工法)

擁壁断面検討.COM

RC新工法

補強土壁工法

テールアルメ工法

テールアルメとは、世界でNO.1の実績を誇る補強土壁工法です。盛土内に帯状の鋼製補強材（ストリップ）を層状に敷設し、土とストリップの摩擦効果によって、強固な補強盛土を構築できます。

■ アクアテール35・14

テールアルメ工法の信頼性・施工性をそのままに、『河川管理施設等構造令』『砂防技術基準』に対応した**河川護岸部用のテールアルメ**です。

■ テールアルメ擁壁

テールアルメは補強土工法の中で唯一、国土交通大臣認定を取得しています。**宅地造成等工事規制区域又は特定盛土等規制区域内の擁壁として適用可能**であり、学校のグラウンドや公園、駐車場など多くの**造成工事**で採用されています。

■ 緑化テールアルメ

壁面材にメッシュパネルを用いており、植生マットと組み合わせると**壁面を緑化することができるテールアルメ**です。



テールアルメ工法



アクアテール35

切土・盛土法面保護擁壁

テラセル®工法(ジオセル)

テラセル工法はテラセルに現地発生土や碎石を充填し、段積みすることで擁壁を構築する工法です。

テラセルは**高密度ポリエチレン（HDPE）**製の帯状シート材料を超音波で千鳥配置に熱溶着した、**立体ハニカム構造**の製品です。

テラセル本体を展開し、中詰材（単粒度碎石、クラッシュラン、現地発生土等）を充填して、中詰材を拘束することで強度を確保し、連続した構造物を形成することができます。切土・盛土・のり面の保護にも使用できます。



緑化補強土壁工法

ワイヤーウォール

壁面材と補強材が一体化になったワイヤーマットを使用する緑化補強土壁工法です。

垂直から**5分勾配までの急勾配盛土を構築**することができます、限られた用地を有効利用することができます。

壁面材に作用する土圧力に対して、盛土中に敷設した補強材の引抜き抵抗力で安定性を保ち、急勾配でも安定した盛土を構築することができます。



発泡スチロール土木工法

EPS工法

大型の発泡スチロール(EPS)ブロックを盛土材料とし、材料の軽量性、耐圧縮性、耐水性および積み重ねた場合の自立性等の特性を有効利用する工法です。

単位体積重量は一般的な土砂19 kN/m³に対して、**0.1～0.3kN/m³**程度と、極めて軽量でおよそ100分の1となっています。軽量につき、人力でも盛土構築できるため、機械搬入が難しい急峻な土地や狭隘部での施工が可能です。

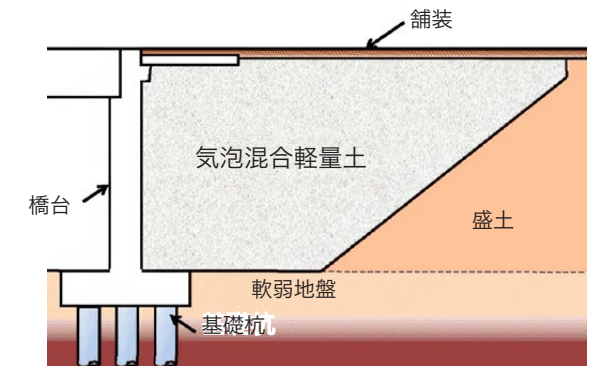


気泡混合軽量盛土工法

FCB工法

気泡混合軽量土を盛土材として用いる工法です。

気泡混合軽量土(エアモルタル・エアミルク)の軽量性、流動性、自立性などの特長を活かし、軟弱地盤上の荷重軽減、橋台背面の土圧軽減等や、通常の土では施工が困難な場所における盛土が可能です。

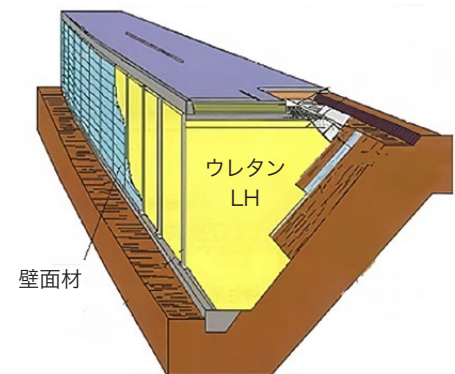


発泡ウレタン軽量盛土工法

ウレタンLH工法

ノンフロン現場発泡硬質ウレタンフォームを盛土材料として現場にて発泡させる**軽量盛土工法**です。

現場で成形するため様々な地盤形状に対応可能です。**液状材料のため、輸送費も大幅に削減**できます。



発泡ガラス軽量盛土材

スーパーソル

廃ガラスを粉砕、焼成発泡して作られた**軽量資材**です。

粒径は2～75mmの不定形な礫状、**重量は一般的な土の1/5～1/6の軽さ**で、多孔質なため排水性も良好な盛土材料です。現地発生土と混合も可能で、重量調整ができます。



高強度プラスチック網

テンサー[®]

土構造物の強化を目的として開発されたポリオレフィンを原料とする高強度プラスチック網です。

従連続成形により製造される為、品質は均一です。
土、碎石と良く馴染み、**強固な拘束力を発揮し、強く強固な盛土**を形成することができます。

軽量かつ切断・接続などの加工も容易なため、施工性に優れます。補強土壁や補強盛土、土地形状に合わせて幅広い用途や条件に適応します。



高強度帯状ジオテキスタイル

パラリンク

軟弱地盤上の盛土や高盛土の安定を図る高強度帯状ジオシンセティックスです。

連高強度ポリエステル長繊維を並行かつ密に引き揃えた芯材をポリエチレンで被膜、帯状に成形した材料を面状にした**高強度且つ耐久性に優れた盛土補強材**です。



網状鉄筋挿入工

SPフィックスパイル工法(S型)

地中にパイルを打設し「疑似擁壁」を構築することで、「**圧縮補強**」の地盤対策工を行うルートパイル工法（網状鉄筋挿入工）です。

SPフィックスパイル工法は、**大型機械の搬入が難しい急峻な土地や狭隘部、崖錐層や転石等でセメント改良が困難な地盤でも施工可能**です。



軟弱地盤の支持力改善工法

テラセル工法(グランドセル)マットレス工法

テラセル（グランドセル）マットレス工法は、テラセル（グランドセル）と碎石とのせん断抵抗により、構造物の加重を分散させ、基礎地盤の支持力不足を改善する工法です。

ハニカム構造のテラセル（グランドセル）が中詰材の碎石を拘束することで、立体かつ盤状の「マットレス」を形成し、構造物を設置する基礎地盤を補強します。



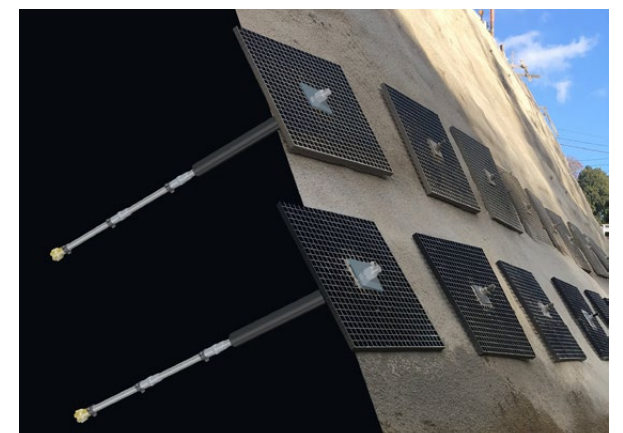
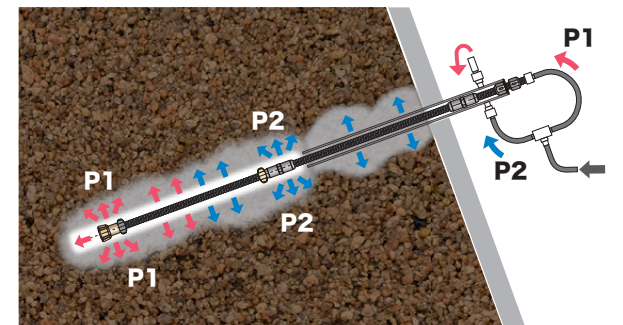
注入式本設ロックボルト工法

SPソイルネイル工法

管堀り小型マシンを使い、孔壁が自立しない地山での高品質な本設ロックボルトを構築します。
機械能力に応じ、部分的な二重管掘りと加圧注入を組み合わせ、確実な全長定着型ロックボルトを高速で経済的に実現します。

従来のアンカーマシンによる二重管方式に比べ、部材が軽量で、ロッドの回収や芯材の立て込み作業もなく、**省力化と高速施工**が可能です。

口元を二重管とし2方向加圧注入する「**部分二重管方式**」で周面摩擦力（ τ ）を改善します。



地山工補強工法

PAN WALL工法

PAN (Panel And Nail) WALL工法は、急勾配斜面安定法、地山補強土工法の理論に基づく工法です。

補強土工法の表面工としてプレキャストコンクリート板を使用し急勾配(垂直～5分)化により自然法面を可能な限り残す逆巻き施工を基本とした**安全性の高い工法**です。

プレキャスト板の擬石模様により、景観への配慮も可能です。



コンクリート・布地複合材料 コンクリートキャンバス

水をかけるだけで高強度のコンクリートライニングを作ることができる製品です。

特殊配合のドライコンクリートと3次元の繊維マトリクス繊維編物とPVCシートのサンドイッチ構造となっており、**水を散布することにより硬化**し、薄く、高耐久で水密性が高く、火に強いコンクリートの面を構築します。



仮設橋梁 EGスパン®

上部工、下部工の設計、施工まで合理的なワンパッケージでの提供が可能な仮設橋梁です。

プレファブ形式のため工程短縮が可能です。

道路橋、工事用 栈橋、応急橋、歩道橋など様々なニーズに豊富なラインナップでお応えします。



鋼製栈道橋 メタルロード®工法

急傾斜地に構築される道路や、工事・管理用道路等に適した鋼製栈道橋です。

耐久性に優れた立体ラーメン構造で、本設道路に使用できます。

短尺軽量のプレファブ部材で構成されているため、運搬・架設が容易で、現地施工期間が短縮できます。

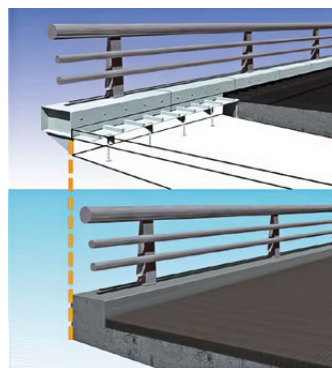


鋼製地覆 ブリッジプラスアルファ

軽量化により橋への負担を軽減した道路拡幅も図れる鋼製地覆です。

従来のコンクリート地覆に比べ**大幅な軽量化（約70%減）**により橋への負担を軽減し、**片側最大1mの道路拡幅可能**です。

工場製作により、施工性の向上、施工期間・規制期間の短縮が実現できます。



防護柵基礎 プレキャスト防護柵基礎

ガードレールやガードパイプなどの防護柵・転落防止柵のプレキャスト化した基礎です。

現現場打ちに比べ、施工性・環境面・経済性・安定性・維持管理面に優れています。

工期は現場打ちの7割、連結による一体化で軽量化を実現しています。型枠が不要なため廃棄物処理が減少します。



土壌侵食防止ブロックマット ゴビマット

コンクリートブロックを、耐久性に優れたフィルターシートと一体化したブロックマットです。

水際、盛土法面等に直接敷設することにより、**施工効率を大幅に向上**します。



遮水マット ベントフィックス

天然の粘土「ベントナイト(Na型)」不織布と織布はさみニードルパンチ製法で一体化した多層構造の遮水マットです。

劣化のない、**半永久的な遮水マット**です。遮水層に生じた穴や亀裂を自己修復する機能があります。

接合は重ね合わせるだけの簡単に敷設できます。



高密度ポリエチレン樹脂製管 ハウエル管

スパイラルワインディング成形によって作られる高耐圧ポリエチレン管です。

管外周の中空リブ構造により、**管の剛性と軽量化を両立**しています。

耐圧強度により、土被りも最大25m程度まで対応できます。



プラスチック製雨水貯留槽 クロスウェーブ工法

プラスチック製ブロック材（再生ポリプロピレン樹脂製）を地下に埋設し、雨水貯留槽や浸透槽を構築する工法です。

直角交差で積み上げたブロック材は高い空隙率を生み出し、**必要十分な貯水量を確保**します。

構造体としても非常に安定しています。



応急対策工 応急土石流ガード

鋼製保護枠と大型土のうを組み合わせた応急対策工です。

「大型土のう」と一体化することで応急対策工としての機能が向上、**土砂災害発生時に効果を発揮**します。

恒久対策完了までの下流側安全性を高め、応急的に2次被害を抑制します。



鋼製ふとん籠 JSパッケージ[®]

パネル型のふとん籠工で、従来の籠工の優れた特長を生かしながら永久構造物としての機能を兼ね備えた製品です。

道路際の災害復旧工事、軟弱地盤対策工事等にも用いられます。



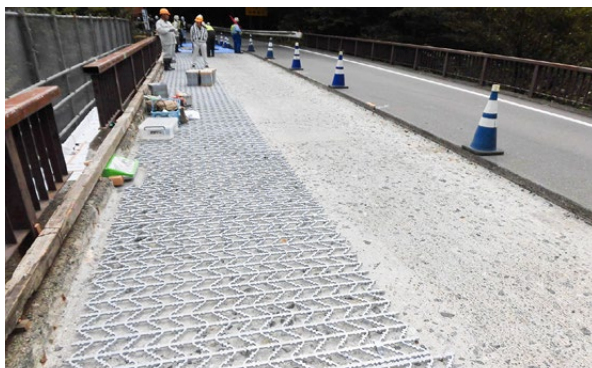
コンクリート構造物の補修・補強用 格子鋼板 グリッドメタル[®]

鋼板を高速レーザーで切断・加工した後、曲げ加工した格子鋼板筋です。

ポリマーセメントと一体化することで、**薄層でコンクリート構造物の補修・補強材として使用**できます。

縦筋・横筋が同一面であるため、補強断面が薄層で経済的です。

補強部位（床版・ボックスカルバートなど）の形状に合わせて加工できるため、現場の施工が省力化できます。



空洞充填工法 NTRフォーム工法

硬質発泡ウレタンを道路・トンネル等に発生した空洞に充填する工法です。

NTRフォーム工法は、**硬質発泡ウレタンを空洞に充填**して、覆工壁への衝撃や周辺地山からの応力の分散を図る工法です。

極めて軽量で覆工への影響が小さく、発泡倍率に応じて注入材の運搬も縮減できます。作業性も良く、長大・狭隘な環境での施工にも対応できます。



鉄筋先組み工法 ロールマット工法

専用機械を使ってバラの鉄筋を2本の番線で所定のピッチに先組み、ロール状に加工した製品を施工現場で転がすだけで配筋が完成する画期的な新工法です。

主な実績としてEPS工法の間中床版や連続鉄筋コンクリート舗装に採用されております。

現場作業の省力化により施工性の向上、作業人員の削減、工期短縮が図れます。



その他 擁壁断面検討.COM

様々な擁壁構造物の断面検討がお客様自身で可能となるシステムです。

擁壁断面検討.COM

youhekidanmenkentou.com



<https://youhekidanmen.com>

断面図と概算工事費をダウンロードすることができます

サービスの流れ

STEP1 会員登録

STEP2 欲しい図面の工法と条件を選択

STEP3 ダウンロード

提携企業



JFE商事 テールワン 株式会社



JSP